

## 地域医療支援病院の申請について

〈北河内保健医療協議会資料〉

令和3年2月10日

〔 市立ひらかた病院 〕

## 1 病院の概要

### (1) 施設概要

名 称 : 市立ひらかた病院  
所在地 : 大阪府枚方市禁野本町2丁目14番1号  
開設年月 : 昭和25年4月  
管理者 : 病院長 林 道廣  
病床数 : 335床 (一般327床、感染8床)

### (2) 沿革

昭和25年 枚方市国民健康保険特別会計直営市民病院として開設  
昭和35年 市立枚方市民病院に改称 地方公営企業法の財務規定を適用  
昭和45年 救急指定病院の告示  
昭和54年 臨床研修指定病院の指定  
平成16年 地方公営企業法の全部適用 病院事業管理者の設置  
平成18年 地域医療連携室を設置  
平成26年 新病院を開院 市立ひらかた病院に改称  
平成29年 日本医療機能評価機構の認定更新 (3.3rdG:Ver1.1)  
平成31年 消化器センターを稼働  
令和2年 下肢機能再建センターを稼働  
～現在に至る

### (3) 理念、基本方針

#### ● 基本理念

心のかような医療を行い、信頼される病院

#### ● 基本方針

- ① 地域の中核病院として住民の命を守るため、質の高い安全な医療を提供します。
- ② 患者の皆様の人権を尊重し、誠意をもって信頼される医療を提供します。
- ③ 他の医療機関や事業者との連携を進め、地域医療における公立病院としての役割を果たします。
- ④ 医療や健康に関する情報を積極的に発信し、住民の健康増進に貢献します。

## 2 診療体制

### (1) 標榜診療科

内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、小児科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、形成外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科、病理診断科、精神科

(2) 救急医療体制  
内科、小児科、外科系・・・全日

(3) 許可病床数

許可病床数

(令和2年4月1日現在 単位:床)

区分	個室				総室			合計	
	特別	A個室	B個室	無料	4人室	観察室	未熟児室		
一般病棟	4階東病棟	-	2	12	-	24	2	6	46
	4階西病棟	-	-	12	-	20	3	-	35
	5階東病棟	-	2	10	-	32	3	-	47
	5階西病棟	-	2	11	-	32	2	-	47
	6階東病棟	-	2	11	-	32	2	-	47
	6階西病棟	2	-	11	-	32	2	-	47
	7階東病棟	-	2	2	8※	32	2	-	46
	7階西病棟	2	2	6	10	-	-	-	20
計	4	12	75	18	204	16	6	335	

※7階東病棟の無料個室は感染症病床

(3) 認定施設等

臨床研修指定病院

救急告示病院

労災保険指定病院

特定疾患治療研究事業指定病院

小児慢性特定疾患治療研究事業指定病院

感染症指定医療機関(第2種)

生活保護法指定医療機関

原子爆弾被害者一般疾病指定医療機関

戦傷病者特別援護法指定病院

児童福祉法指定助産施設

児童福祉法育成医療指定医療機関

母子保護法指定病院

母子保健法指定養育医療機関

自立支援医療(更正)指定医療機関(肝移植後の抗免疫療法)

肝炎専門医療機関

日本内科学会認定医制度教育関連病院

日本循環器学会循環器専門医研修施設

日本内分泌学会認定教育施設  
日本甲状腺学会認定専門医施設  
日本糖尿病学会教育関連施設  
日本消化器病学会認定医制度認定施設  
日本消化器内視鏡学会認定専門医制度認定医指導施設  
日本超音波医学会超音波専門医研修連携施設  
日本小児科学会専門医研修施設  
日本小児神経学会小児神経専門医研修認定施設  
日本外科学会外科専門医制度修練施設  
日本消化器外科学会専門医認定施設  
日本大腸肛門病学会認定施設  
日本乳癌学会専門医制度認定施設  
日本麻酔科学会麻酔科認定病院  
日本整形外科学会専門医制度認定研修施設  
日本脳神経外科学会専門医認定制度連携施設  
日本眼科学会専門医制度研修施設  
日本耳鼻咽喉科学会認定専門医制度研修施設  
日本泌尿器科学会専門医教育施設  
日本病理学会専門医制度登録施設  
日本口腔外科学会認定研修施設  
日本形成外科学会認定施設  
日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会乳房再建用エキスパンダー/インプラント実施施設  
日本産婦人科内視鏡学会研修施設  
日本皮膚科学会認定研修施設  
呼吸器外科専門医合同委員会認定修練施設  
呼吸器外科専門医合同委員会専門研修連携施設  
日本がん治療認定医機構認定研修施設  
日本てんかん学会研修施設

## (4) 職員構成

(令和2年4月1日現在)

区 分	職 員 数							計
	特 別 職	医 師	正 看 護 師	准 看 護 師	医 療 技 術 員	事 務 員	技能労務員等	
病院事業管理者	1							1
内 科		14 ( 8 )						14 ( 8 )
小 児 科		7 ( 2 )						7 ( 2 )
外 科		6 ( 4 )						6 ( 4 )
形 成 外 科		1 ( 2 )						1 ( 2 )
胸 部 外 科		1						1
脳 神 経 外 科		1						1
整 形 外 科		3 ( 1 )						3 ( 1 )
皮 膚 科		1 ( 1 )						1 ( 1 )
泌 尿 器 科		2 ( 1 )						2 ( 1 )
産 婦 人 科		4						4
眼 科		3			2 ( 1 )			5 ( 1 )
耳 鼻 いんこう科		2 ( 1 )						2 ( 1 )
放 射 線 科		2			19 ( 1 )			21 ( 1 )
歯 科 口 腔 外 科		4			1 ( 2 )			5 ( 2 )
麻 酔 科		3 ( 2 )			3			6 ( 2 )
救 急 科		1						1
中 央 検 査 科		2			19 ( 7 )			21 ( 7 )
栄 養 管 理 科					4	1		5
リハビリテーション科		1 ( 1 )			10		( 2 )	11 ( 3 )
健 診 科		2						2
緩 和 ケ ア 科		1						1
精 神 科		1			1			2
看護局長室等			4			( 1 )		4 ( 1 )
4 東 病 棟			26 ( 3 )	1 ( 1 )		( 1 )	( 3 )	27 ( 8 )
4 西 病 棟			28 ( 3 )			1 ( 2 )	( 4 )	29 ( 9 )
5 東 病 棟			28 ( 1 )			( 1 )	( 4 )	28 ( 6 )
5 西 病 棟			26			( 1 )	( 4 )	26 ( 5 )
6 東 病 棟			26	1		( 1 )	( 3 )	27 ( 4 )
6 西 病 棟			26 ( 1 )			( 1 )	( 4 )	26 ( 6 )
7 東 病 棟			24	2		( 1 )	( 4 )	26 ( 5 )
7 西 病 棟			17 ( 1 )			( 1 )	( 4 )	17 ( 6 )
外 来			21 ( 9 )	( 2 )		( 6 )	( 1 )	21 ( 18 )
救急・中央診療			20 ( 3 )	1				21 ( 3 )
手術サプライ室			23					23
薬 剤 部					19 ( 4 )	( 2 )		19 ( 6 )
医療安全管理室			3					3
医療相談・連携室			5 ( 1 )		2	4 ( 10 )		11 ( 11 )
事 務 局						3		3
総 務 課						8 ( 4 )		8 ( 4 )
医 事 課					( 5 )	6 ( 17 )		6 ( 22 )
経 営 企 画 課						8 ( 1 )		8 ( 1 )
そ の 他		( 9 )	22					22 ( 9 )
計	1	62 ( 32 )	299 ( 22 )	5 ( 3 )	80 ( 20 )	31 ( 50 )	0 ( 33 )	478 ( 160 )

( )内の数は、嘱託等を外数で記載した。

職員数には任期付職員・再任用職員を含む。

(5) 各種委員会

令和2年4月現在

	委員長	副委員長	委員会庶務
1 経営企画会議	宮垣 純一	林 道廣	経営企画課
2 勤務医等の負担軽減及び処遇改善に関する委員会	宮垣 純一	林 道廣	総務課
3 管理運営会議	宮垣 純一	林 道廣	経営企画課
小集団活動推進委員会	中島 伯	和辻利和	総務課
教育研修委員会	林 道廣		総務課
サービス向上委員会	岡市 世紀	服部ひとみ	医事課
病院機能評価会議	林 道廣	白石由美	総務課
4 救急運営委員会	木下 隆	小林 正文 小籧 直充	医事課
5 衛生委員会	岡市 世紀	乾口 美香	総務課
ハラスメント防止委員会	岡市 世紀	乾口 美香	総務課
6 安全管理委員会	木下 隆	赤塚 正文 鈴木 境美	医療安全管理室
医療機器安全管理委員会	赤塚 正文	木下 隆	医療安全管理室
医療安全管理実施小委員会	木下 隆	赤塚 正文	医療安全管理室
医療安全カンファレンス会議	鈴木 境美	木下 隆	医療安全管理室
感染防止対策委員会	和辻利和	後藤 功	医療安全管理室
感染制御チーム	和辻利和	嶋木 美和	医療安全管理室
医療ガス安全管理委員会	赤塚 正文	三根 大乗 白石 由美	総務課
輸血療法委員会	吉井 康欣	和辻利和	中央検査科
褥瘡対策委員会	小野 祥子	山崎 葵衣 前田 尚吾	看護局
手術室運営委員会	赤塚 正文	奥 依子	医事課
放射線安全委員会	辰巳 智章	赤塚 正文	放射線科
放射線治療品質管理委員会	林 道廣	辰巳 智章	放射線科
医療放射線管理委員会	赤木 弘之	赤塚 正文	放射線科
7 臨床研修管理委員会	中島 伯	岡空 圭輔	総務課
院内臨床研修委員会	中島 伯	岡空 圭輔	総務課
8 倫理委員会	林 道廣	後藤 功	総務課
看護局倫理部会			
9 診療情報管理委員会	後藤 功		医事課
適切なコーディングに関する委員会	後藤 功		医事課
医療情報システム委員会	林 道廣	木下 隆功 後藤 功	医事課
検査管理委員会	時津 浩輔	和辻利和	中央検査科

(6) 防災体制

1. 自衛消防隊の編成及び任務

自衛消防隊長 病院長  
副 隊 長 副院長、事務局長、防火・防災管理者  
地 区 隊 員 担当区域の火元責任者

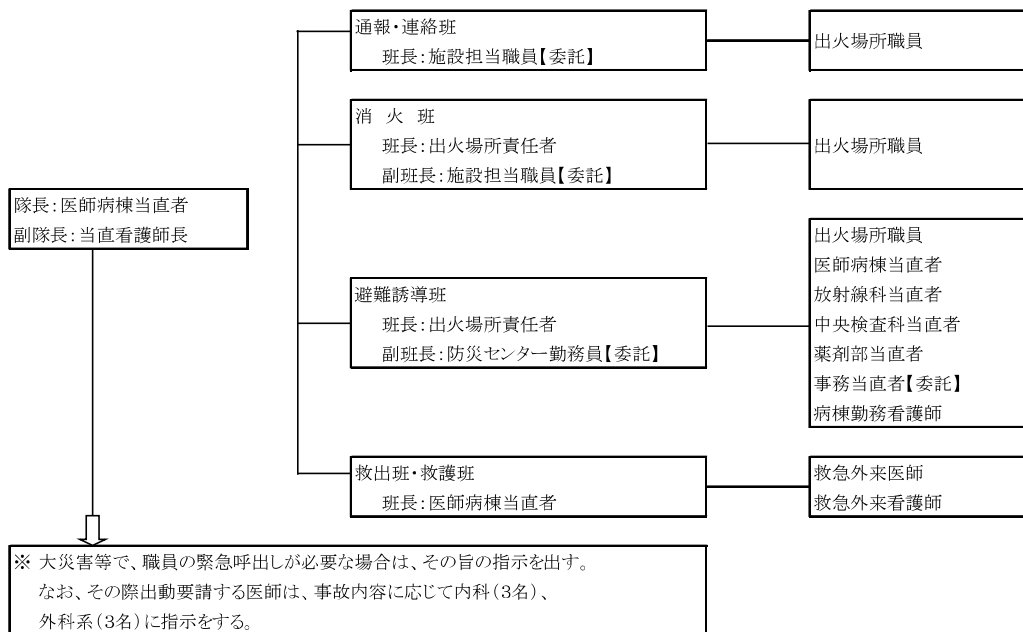
(令和2年4月1日現在)

部隊	班名	任 務	班 長	班 員	
本 部 隊	指 揮 班	1. 隊長、副隊長の補佐 2. 自衛消防本部設置 3. 各班、地区隊への命令伝達並びに情報収集 4. その他指揮統制上、必要事項	総 務 課 長	総 務 課 員	
	通 報 連 絡 班	1. 消防機関「119」への通報並びに通報の確認 2. 院内への非常通報 3. 各班への出動命令 4. その他消防隊への通報連絡など必要な事項の収集、消防隊の現場への誘導等	放 射 線 科 長	放 射 線 科 員	
	消 火 班	1. 出火階に直行し補助散水栓による防火作業に従事 2. 消防隊との連携による消火活動 3. 防火戸、防火シャッター、防火ダンパーの閉鎖等の措置を講ずること	医 事 課 長	医 事 課 員	
	避 難 誘 導 班	1. 出火階並びに上層階に直行し、避難開始の指示命令の伝達 2. 非常口の開放並びに開放の確認 3. 避難上障害となる物品の除去 4. 未避難者、要救助者の確認及び本部への報告	中 央 検 査 科 長	中 央 検 査 科 員	
	救 護 班	1. 応急救護所の設置 (本部) 2. 消防救急隊との連携、設備の提供	看 護 局 次 長	医 事 課 外 来 看 護 師	
地 区 隊	通 報 連 絡 班	1. 消防機関「119」、防災センターへの通報 2. 隣接棟・階への連絡 3. 各班への出動命令 (緊急連絡先一覧表による)	診療局・薬剤部・看護局 (病棟・外来)・事務局 (総務課・医事課・経営企画課) その他すべての部門においてあらかじめ選出する		
	消 火 班	1. 地区隊内の消火器、補助散水栓を活用し、消火作業に従事する 2. 他地区から火災の場合は、地区隊長の指示により活動する			

	避難誘導班	<p>1. メガホン、携帯用拡声器等を活用し、火点反対側の階段等を選定し誘導する</p> <p>2. パニック防止処置を行う</p> <p>3. 避難上重要な箇所（出口、曲がり角、下階との合流箇所等）に分散配置し、二次災害防止にあたる</p> <p>4. 火災が上階の場合は上階からの避難を優先することに留意する</p>	
	救護班	地区内の非常持ち出し物品を搬出し、その管理にあたる	

(7)

## 2. 休日・夜間における自衛消防組織



## (3) 市立ひらかた病院地震対策本部体制

### 1 目的

地震による被害は、同時多発しその災害活動は長時間と多くの人の協力が必要となることから、病院内が一体となって人命の安全と被害の軽減及び復旧対策等を行うため「地震対策本部」を設置する。

### 2 設置時期

震度5弱以上の地震が発生した場合に設置する。

### 3 活動内容

地震対策本部は被害状況の把握、自衛消防活動の支援、応急対策の決定、復旧計画の策定等地震災害全般にわたって決定する。

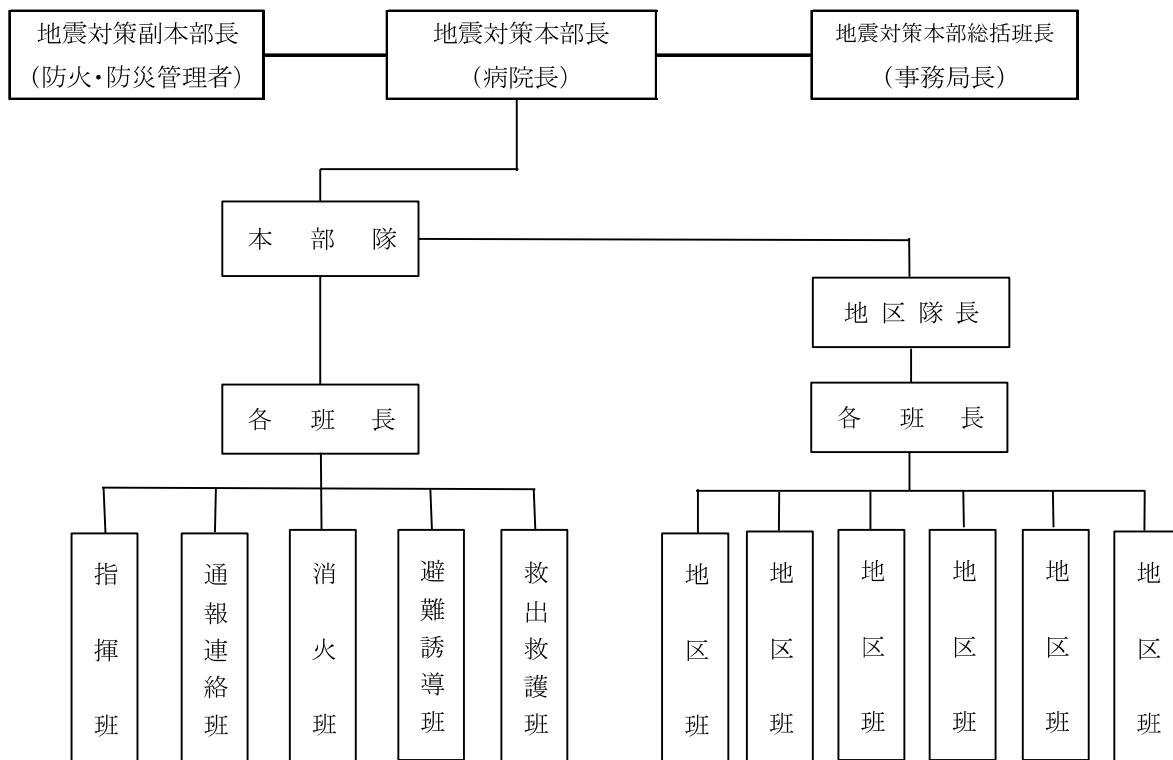
### 4 組織及び任務

- 1) 本部長は病院長とし、副本部長は防火・防災管理者、総括班長は事務局長とする。
- 2) 本部長は、地震災害活動の最高責任者として自衛消防組織の行う活動を統括する。
- 3) 副本部長は、本部長を補佐するとともに自衛消防組織の円滑な活動について支援する。
- 4) 総括班長は、自衛消防組織の活動の支援活動にあたる。



5 対策本部の設置場所

本部長が指定した場所とする。



(8) 施設基準

地域歯科診療支援病院歯科初診料

歯科外来診療環境体制加算 2

歯科診療特別対応連携加算

一般入院基本料（急性期一般入院料 1）

総合入院体制加算 3

救急医療管理加算

超急性期脳卒中加算

診療録管理体制加算 2

医師事務作業補助体制加算 1<sup>ハ</sup>（2.5対1）

急性期看護補助体制加算（2.5対1）

看護職員夜間 1.6 対 1 配置加算 1

療養環境加算

重症者等療養環境特別加算

緩和ケア診療加算

栄養サポートチーム加算

医療安全対策加算 1  
医療安全対策地域連携加算 1  
感染防止対策加算 1  
抗菌薬適性使用支援加算  
褥瘡ハイリスク患者ケア加算  
ハイリスク妊娠管理加算  
ハイリスク分娩管理加算  
後発医薬品使用体制加算 1  
病棟薬剤業務実施加算 1  
データ提出加算 2・4イ  
入退院支援加算 1  
（入院時支援加算・総合機能評価加算・地域連携診療計画加算）  
認知症ケア加算 2  
せん妄ハイリスク患者ケア加算  
精神疾患診療体制加算  
地域歯科診療支援病院入院加算  
小児入院医療管理料 2  
小児入院医療管理料 4  
注 2 に規定する加算  
緩和ケア病棟入院料 1  
糖尿病合併症管理料  
がん性疼痛緩和指導管理料  
がん患者指導管理料イ  
がん患者指導管理料ロ  
がん患者指導管理料ハ  
がん患者指導管理料ニ  
外来緩和ケア管理料  
乳腺炎重症化予防ケア・指導料  
婦人科特定疾患治療管理料  
地域連携小児夜間・休日診療料 2  
地域連携夜間・休日診療料  
院内トリアージ実施料  
夜間休日搬送医学管理料の注 3 に規定する救急搬送看護体制加算 1  
ニコチン依存症管理料  
療養・就労両立支援指導料の注 3 に規定する相談支援加算  
開放型病院共同指導料  
がん治療連携計画策定料  
がん治療連携指導料  
肝炎インターフェロン治療計画料  
ハイリスク妊産婦連携指導料 1

ハイリスク妊産婦連携指導料 2

薬剤管理指導料

検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料

医療機器安全管理料 1

医療機器安全管理料 2

持続血糖測定器加算（間欠注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合）

及び皮下連続式グルコース測定

持続血糖測定器加算（間欠注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場

合）及び皮下連続式グルコース測定

**BRCA1/2** 遺伝子検査

**HPV** 核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）

検体検査管理加算（Ⅰ）

検体検査管理加算（Ⅳ）

時間内歩行試験シャトルウォーキングテスト

ヘッドアップティルト試験

長期継続頭蓋内脳波検査

神経学的検査

小児食物アレルギー負荷検査

画像診断管理加算 2

遠隔画像診断

**CT** 撮影及び**MRI** 撮影

冠動脈 **CT** 撮影加算

心臓 **MRI** 撮影加算

乳房 **MRI** 撮影加算

小児科鎮静下 **MRI** 撮影加算

抗悪性腫瘍剤処方管理加算

外来化学療法加算 1

連携充実加算

無菌製剤処理料

心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）

廃用症候群リハビリテーション料（Ⅱ）

運動器リハビリテーション料（Ⅰ）

呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）

がん患者リハビリテーション料

硬膜外自家血注入

エタノールの局所注入（甲状腺に対するもの）

エタノールの局所注入（副甲状腺に対するもの）

導入期加算 1

組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。）二次再建

脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術  
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術  
乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検（併用）  
乳がんセンチネルリンパ節加算 2 及びセンチネルリンパ節生検（単独）  
乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの））  
乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））  
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後） 一次二期的再建及び二次再建  
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術  
大動脈バルーンパンピング法（IABP 法）  
医科点数表第 2 章 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術（胃瘻造設術（経皮的内視鏡下  
胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む））  
胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る。）  
腹腔鏡下肝切除術  
腹腔鏡下膵腫瘍摘出術  
腹腔鏡膵体尾部腫瘍切除術  
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術  
腹腔鏡下仙骨腫固定術  
輸血管理料Ⅱ  
輸血適正使用加算  
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算  
胃瘻造設時嚥下機能評価加算  
麻酔管理料（Ⅰ）  
高エネルギー放射線治療  
放射線治療専任加算  
外来放射線治療加算  
画像誘導放射線治療加算  
体外照射呼吸性移動対策加算  
定位放射線治療  
定位放射線治療呼吸性移動対策加算  
1 回線量増加加算  
病理診断管理加算 1  
悪性腫瘍病理組織標本加算  
歯科疾患管理料の注 1 1 に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料  
精密触覚機能検査  
歯科口腔リハビリテーション料 2  
口腔病理診断管理加算 1  
クラウン・ブリッジ維持管理料  
CAD/CAM 冠  
入院時食事療養費に関する事項  
食事療養費（Ⅰ） 食堂加算 酸素

(9) 患者数統計  
入院患者数

一般病棟	令和元年度		平成30年度	
	患者数	一日平均	患者数	一日平均
内科	40,726	111.3	42,741	117.1
小児科	11,286	30.8	10,927	29.9
外科	12,686	34.7	10,743	29.4
胸部外科	1,117	3.0	692	1.9
脳神経外科	2,920	8.0	3,198	8.8
整形外科	11,374	31.1	11,002	30.1
皮膚科	433	1.2	744	2.0
泌尿器科	2,673	7.3	2,504	6.9
産婦人科	5,059	13.8	4,483	12.3
眼科	1,281	3.5	1,160	3.2
耳鼻咽喉科	2,647	7.2	2,791	7.7
歯科口腔外科	1,899	5.2	2,095	5.7
小計	94,101	257.1	93,080	255.0

外来患者数

診療科	令和元年度		平成30年度	
	患者数	一日平均	患者数	一日平均
内科	51,617	213.3	49,950	204.7
小児科	17,501	72.3	17,822	73.0
外科	21,886	90.4	21,722	89.0
胸部外科	1,203	5.0	1,205	4.9
脳神経外科	4,879	20.2	5,065	20.8
整形外科	13,613	56.2	14,459	59.3
皮膚科	10,216	42.2	10,679	43.8
泌尿器科	11,985	49.5	11,122	45.6
産婦人科	12,243	50.6	12,112	49.6
眼科	12,488	51.6	12,611	51.7
耳鼻咽喉科	7,317	30.2	8,088	33.1
麻酔科	766	3.2	-	-
精神科	1,087	4.5	901	3.7
歯科口腔外科	15,527	64.2	14,717	60.3
リハビリテーション科	6,319	26.1	5,978	24.5
放射線科	2,969	12.3	2,770	11.4
救急科	7,720	31.9	8,267	33.9
合計	199,336	823.7	197,468	809.3

(10) 救急患者数

救急患者数統計(電子カルテ救急患者一覧より集計)

H3104-R0203

	日勤帯(平日8:00~18:00)			時間外(日勤帯以外)			日勤帯+時間外		
	入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	合計
救急車	577	868	1,445	1,332	1,837	3,169	1,909	2,705	4,614
徒歩	205	309	514	1,353	5,410	6,763	1,558	5,719	7,277
小児科後送(北河内)	0	0	0	189	44	233	189	44	233
合計	782	1,177	1,959	2,874	7,291	10,165	3,656	8,468	12,124

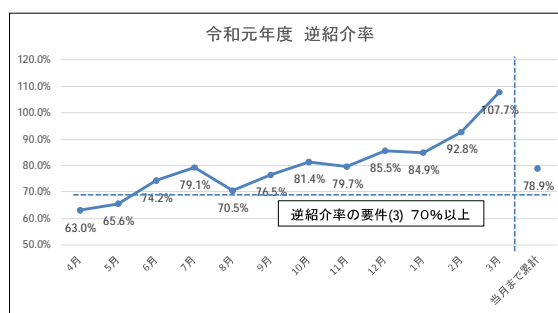
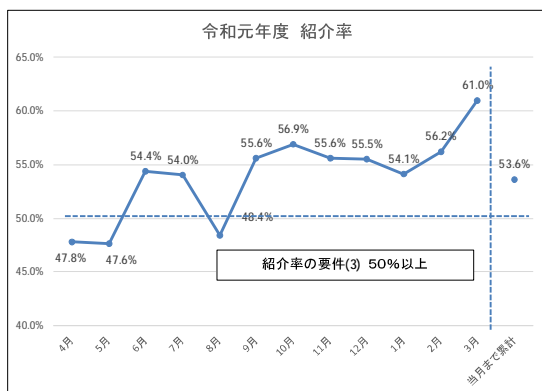
(11) 紹介患者数等

令和元年度紹介率 (地域医療支援病院承認要件に基づき算出)

初診算定分

健診めき

救急を除く(初診・紹介減 逆贈)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	当月まで累計
①紹介状有り患者数 (初診料を算定、救急を除く)	699	708	720	793	702	708	740	706	702	632	618	634	8,362
②初診患者数(健診・復診受診を除く)	2,096	2,147	1,910	2,089	2,122	1,905	1,885	1,795	2,012	2,014	1,622	1,506	23,103
③来院方法が救急車で初診	241	214	236	256	282	245	239	202	295	272	234	192	2,908
④休日+時間外で初診	395	448	351	367	391	387	346	324	454	574	290	275	4,602
⑤健診で疾病発見したため初診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>紹介率 =</b> ① / (②-③-④-⑤)	47.8%	47.6%	54.4%	54.0%	48.4%	55.6%	56.9%	55.6%	55.5%	54.1%	56.2%	61.0%	53.6%
⑥逆紹介患者数	920	975	982	1,161	1,022	975	1,059	1,012	1,080	992	1,020	1,120	12,318
<b>逆紹介率 =</b> ⑥ / (②-③-④-⑤)	63.0%	65.6%	74.2%	79.1%	70.5%	76.5%	81.4%	79.7%	85.5%	84.9%	92.8%	107.7%	78.9%



【参考1】 地域医療支援病院承認要件(紹介率・逆紹介率)  
 ○地域医療支援病院紹介率及び逆紹介率が下表のいずれか一つを満たしていること。

	紹介率	逆紹介率
(1)	80%	—
(2)	65%	40%
(3)	50%	70%

(12) 共同利用登録医療機関（地域別）

市	件数
交野市	9
枚方市	67
総計	76

(13) 講演会、症例検討会、研修会の実績

2019年度 研修内容と参加者一覧

時期	項目	内 容	院内 参加者数	院外 参加者数
R 元年 7 月 12 日 (金)	教育研修 倫理研修	講演「医療現場における倫理問題」 藍野大学 医療保健学部 看護学科教授 平山 恵美 子	129 名	9 名
R 元年 7 月 20 日 (土)	ひらかた消 化器連携フ ォーラム	講演 1「新たな時代を迎える肝臓治療と当院での肝臓治療の 現況」 市立ひらかた病院 藤原 新也 講演 2「上部消化管外科治療の現況と当院における今後の展 望」 市立ひらかた病院 河合 英 講演 3「酸関連疾患の NEW STRATEGY」 大阪医科大学第二内科教授 樋口 和秀	21 名	36 名
R 元年 10 月 5 日 (土)	地域医療連 携懇談会	講演「消化器センターの現状」 市立ひらかた病院 消化器センター長 森田 眞照 講演「当院での大腸癌に対する手術の現状と展望」 市立ひらかた病院 消化器外科部長 鱒淵 真介	42 名	18 名
R 元年 11 月 21 日 (木)	感染症研修 会	特別講演「病院スタッフが知っておきたい耐性菌とそのマネ ジメント」 兵庫医科大学主任教授 竹末 芳生	73 名	43 名

R 元年 12 月 23 日 (月)	医療安全研 修	講演「医療安全最近のトピックス」 市立ひらかた病院 医療安全管理室室長 木下 隆 講演「医療安全について」 市立ひらかた病院 病院長 林 道廣	153 名	9 名
R2 年 1 月 25 日 (土)	病診連携報 告会 くらわんか フォーラム	講演 1「ホルモン療法後、神経内分泌癌への転化を来したと 考えられる前立腺癌の 1 例」 市立ひらかた病院 臨床研修医 西森 早苗 講演 2「糖尿病と認知症について」 片瀬医院 田代 香織 講演 3「令和元年度 医科歯科連携推進事業 がん診療拠点 病院における 医科歯科連携推進研修」 歯科医師会大東・四條畷歯科医師会 副会長 小玉 圭司 大阪府歯科衛生士会 歯科衛生士 出口 智恵子 講演 4「患者のための薬局ビジョン」 薬剤師会長 岩瀬 敦彦 特別講演 5「急性腎不全を呈する小児の急性胃腸炎」 大阪医科大学小児科学教授 芦田 明	49 名	29 名
R2 年 2 月 18 日 (火)	NST 勉強会	講演『S-NUST (Scored Nutrition Screening Tool) を使って みませんか？ ～S-NUST 開発の経緯と、栄養スクリーニングとしての の有用性～』 福井県立病院 内科医長・NST 栗山 とよ子	56 名	17 名
R2 年 2 月 22 日 (土) 中止	地域医療連 携懇談会	特別講演「悔いのない人生の最期を迎えるために ～なぜ 今、ACP なのか～」 介護老人保健施設ニューライフガラシア施 設長 阿曾沼 克弘	名	名
R2 年 3 月 7 日(土) 中止	地域連携多 職種研修	特別講演「キャリアを考えよう！ーあなたが自分らしくある ためにー」 国家資格キャリアコンサルタント・看護師 小 林 麻里子,古館 豊子	名	名



時 期	項 目	内 容	院内 参加者	院外 参加者
R 元年 7 月 13 日 (土)	専門研修 第 1 回 がん看護	「がんの基礎知識」「がん患者の意思決定支援」「緩和ケアの概念」	6 名	6 名
R 元年 8 月 31 日 (土)	専門研修 第 2 回 がん看護	症状マネジメント 「がん性疼痛の発生機序」 「がん性疼痛の薬物療法①」	6 名	6 名
R 元年 11 月 30 日 (土)	専門研修 第 3・4 回がん看護	症状マネジメント 「がん性疼痛の薬物療法②③」 「嘔気の治療と看護」 「息苦しさの治療と看護」	6 名	4 名
R 元年 12 月 14 日 (土)	専門研修 第 5 回 がん看護	症状マネジメント 「せん妄の治療と看護」 「気持ちのつらさへの援助」	5 名	5 名
R 2 年 1 月 18 日 (土)	専門研修 第 6 回 がん看護	「演習」	4 名	5 名
R 元年 6 月 21 日 (金)	専門研修 第 1 回 感染管理	感染防止技術 「ケアと感染予防」	10 名	2 名
R 元年 7 月 19 日 (金)	専門研修 第 2 回 感染管理	感染防止技術 「ケアと感染予防」	9 名	2 名
R 元年 8 月 16 日 (金)	専門研修 第 3 回 感染管理	感染症と消毒薬 「感染対策と消毒」	10 名	3 名
R 元年 9 月 20 日 (金)	専門研修 第 4 回 感染管理	微生物学	10 名	3 名
R 元年 10 月 18 日 (金)	専門研修 第 5 回 感染管理	薬理学	10 名	2 名
R 元年 11 月 15 日 (金)	専門研修 第 6 回 感染管理	職業感染管理「血液媒介病原体による針刺し、切創・汚染予防と発生後の対応」 (HIV・HBV・HCV・HTLV-I 等)	10 名	2 名
R 元年 12 月 20 日 (金)	専門研修 第 7 回 感染管理	サーベイランス 「CLABSI SSI CAUTI」	8 名	2 名
R 2 年 2 月 10 日 (金)	専門研修 第 8 回 感染管理	感染防止技術 「領域別感染防止」	10 名	2 名
R 元年 6 月 1 日 (土)	専門研修 第 1 回 皮膚・排泄ケア	褥瘡（創傷）ケア 「褥瘡予防ケア」	8 名	7 名
R 元年 7 月 6 日 (土)	専門研修 第 2 回 皮膚・排泄ケア	褥瘡（創傷）ケア 「ポジショニング」	8 名	7 名
R 元年 9 月 14 日 (土)	専門研修 第 3 回 皮膚・排泄ケア	オストミー 「ストーマケア基本」「ストーマケア応用」	8 名	7 名
R 元年 10 月 5 日 (土)	専門研修 第 4 回 皮膚・排泄ケア	コンチネンス 「排泄のメカニズムとケア」	6 名	5 名

R 元年 6 月 15 日 (土)	専門研修 第 1 回 救急看護	「災害時看護」「トリアージ」「メンタルアセスメント」	8 名	8 名
R 元年 7 月 20 日 (土)	専門研修 第 2 回 救急看護	フィジカルアセスメントとケア「呼吸のフィジカルアセスメント」	7 名	8 名
R 元年 9 月 21 日 (土)	専門研修 第 3 回 救急看護	フィジカルアセスメントとケア「急性呼吸不全について」	5 名	7 名
R 元年 10 月 19 日 (土)	専門研修 第 4 回 救急看護	フィジカルアセスメントとケア 「循環のフィジカルアセスメント 心電図の見方」	5 名	8 名
R 元年 11 月 16 日 (土)	専門研修 第 5 回 救急看護	フィジカルアセスメントとケア 「生体侵襲反応 意識・腹部のフィジカルアセスメント」	5 名	8 名
R 元年 12 月 21 日 (土)	専門研修 第 6 回 救急看護	病態とケア 「演習」	4 名	8 名
R 元年 6 月 19 日 (水)	5 圏域多職種連携 研究会	多職種による高齢者へのとりくみをみんなで知ろう	15 名	51 名
R 元年 6 月 23 日 (土)	新生児蘇生法スキルアップコース	新生児蘇生法	13 名	10 名
R 元年 10 月 19 日 (土)	新生児蘇生法スキルアップコース	新生児蘇生法	5 名	16 名
R 元年 11 月 30 日 (土)	新生児蘇生法 A コース	新生児蘇生法	11 名	5 名
R 元年 9 月 22 日	ICLS		10 名	2 名
R 元年 12 月 22 日	ICLS		10 名	2 名
R2 年 3 月 中止	ICLS		名	名
R 元年 10 月 26 日 (土)	北河内画像勉強会	講演「低被曝、なのに高画質」近畿大学 小坂氏	7 名	45 名